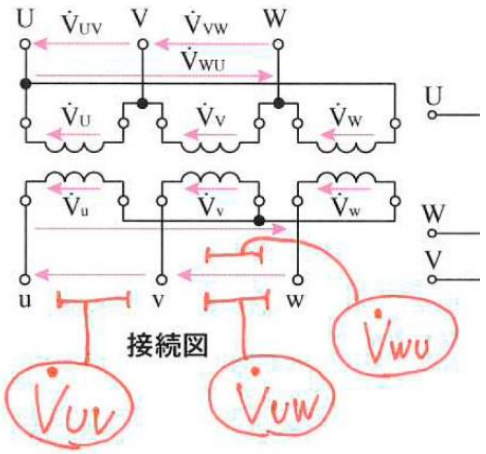
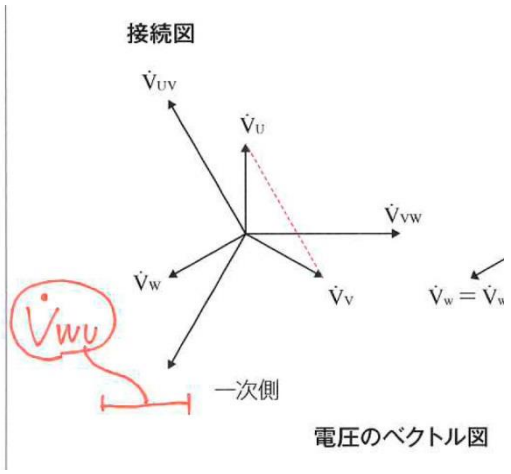
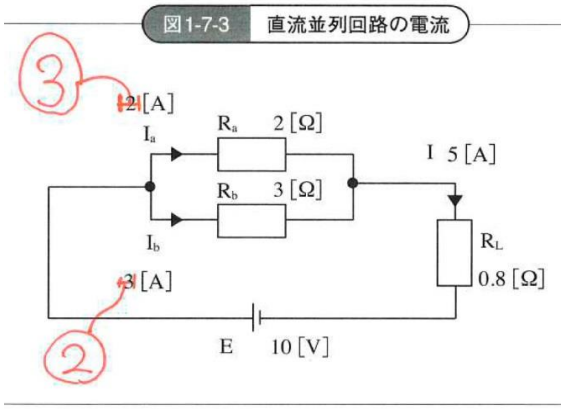
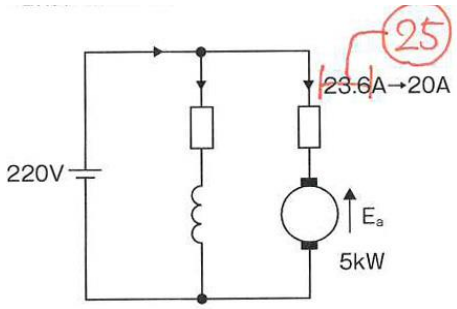
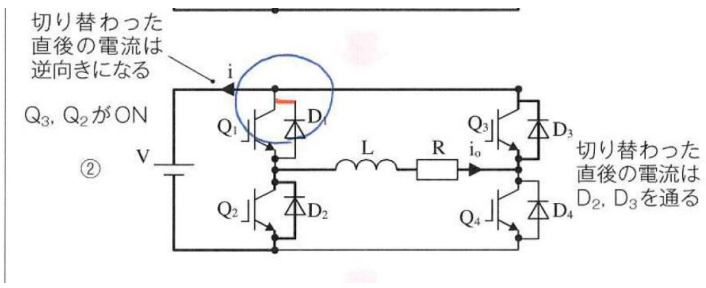
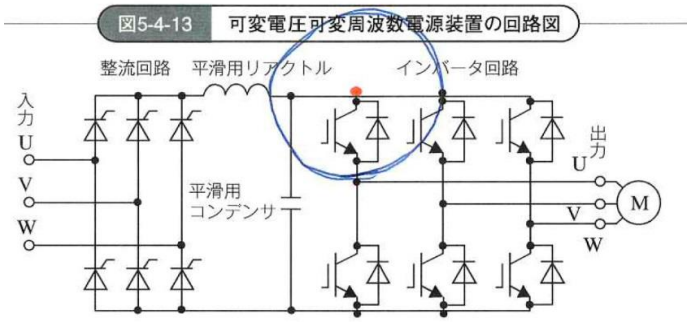
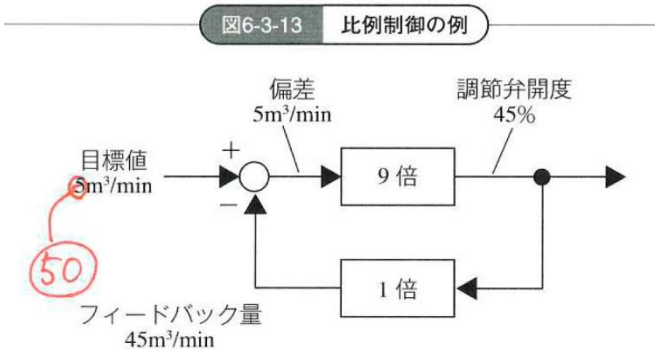
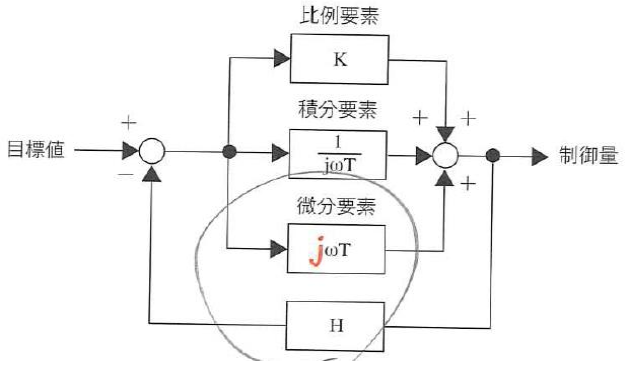
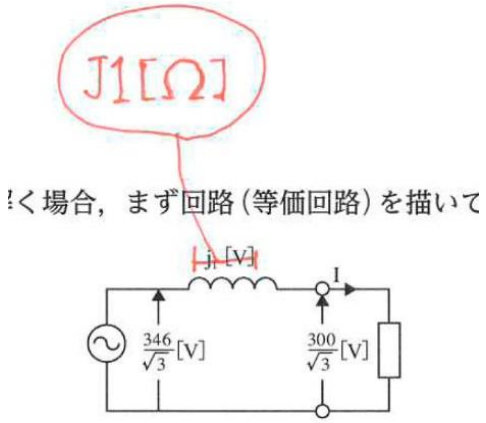
一発合格！　やさしくわかる電験三種 【機械】 完全攻略テキスト＆問題集　　正誤表

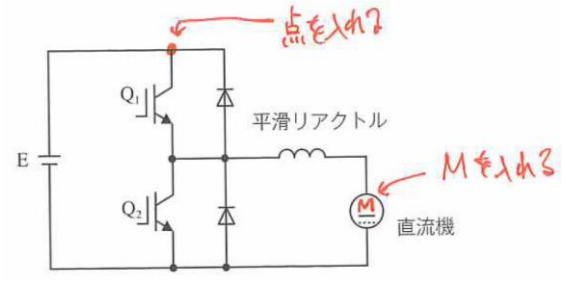
本書で記載されている内容に誤りがございました。読者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。
下記の通り訂正させていただきます。

版	ページ	誤	正
初版	P16　巻数比と電圧・電流・インピーダンスの関係　(2)電圧と巻数比 7行目	の関係があるといえる。	の関係がある。 ⇒「といえる」を削除
初版	P24　変圧器の等価回路　4行目	励磁コンダクタンスはgO[S],	励磁コンダクタンスをgO[S],
初版	P28　変圧器の最大効率　1行目	変圧器の定格容量をP_n[VA],	変圧器の定格容量をP_n[V・A],
初版	P36　損失の測定　5行目	$X=\sqrt{Z^2-X^2}$	$X=\sqrt{Z^2-R^2}$ ⇒「X」を「R」に変更
初版	P37　ベクトル図　17行目	R_L直列回路の	RL直列回路の ⇒小さい文字の「L」を通常の大きさの文字「L」に変更
初版	P38　ベクトル図　2～4行目	$OA=V_{2n}$ $AB=I_nR\cos\theta$ $BC=I_nX\sin\theta$	$\overline{OA}=V_{2n}$ $\overline{AB}=I_nR\cos\theta$ $\overline{BC}=I_nX\sin\theta$ ⇒「OA」「AB」「BC」の上部に「 ‾ 」を追加
初版	P53　図1-5-4　△-Y結線　接続図		⇒回路図の下部に 「$\dot{V}_{uw}$」「$\dot{V}_{wu}$」「$\dot{V}_{vw}$」 を追加 
初版	P54　図1-5-5　接続図左下		⇒図内に、「 $\dot{V}_{WU}$ 」を追加 
初版	P63　単巻変圧器　6行目	図1-5-6からわかるように,	図1-6-2からわかるように,

初版	P68　変圧器の並行運転　(2)電流の分担　2行目	図1-7-2である。	図1-7-2(上)である。
初版	P68　変圧器の並行運転　(2)電流の分担　3行目	図1-7-1の励磁回路を無視した回路が，図1-7-2である。	図1-7-2(上)の励磁回路を無視した回路が，図1-7-2(下)である。
初版	P70　変圧器の並行運転　図1-7-3		⇒「 2[A] 」を「 3[A] 」、「 3[A] 」を「 2[A] 」とする 図1-7-3　直流並列回路の電流 
初版	P71 「ココが重要」3行目	百分率抵抗降下	百分率インピーダンス降下 ⇒「抵抗」を「インピーダンス」とする
初版	P86　演習問題　問1　2行目	高圧側の回路を開放して低圧側の回路に	低圧側の回路を開放して高圧側の回路に
初版	P100　直流電動機のトルクと出力　2行目	1回転は360[°　]で、	1回転は360°　で、 ⇒[　]を削除
初版	P131　解答解説　問5　図右上		⇒ 「 23.6A→20A 」を「 25A→20A 」とする 
初版	P146　等価回路　3行目(数式2つ目)	$\dot{I}_1{}'$	$I_1{}'$ ⇒「I」の上のドットは削除
初版	P178　単位法　9行目	$Z_B = \frac{Z_B}{I_B}$　(4-8)	$Z_B = \frac{V_B}{I_B}$　(4-8)
2刷	P180　図4-1-10	横軸に「界磁電流」の記載がない。	横軸に「界磁電流」を追加する。
2刷	P180　図4-1-11	横軸界磁電流の文字の位置。 定格電流の文字の位置。 電機子電流の文字の位置。	横軸界磁電流の文字を横軸のの下に移動する。 定格電流の文字を点線の上に移動する。 電機子電流の文字を縦軸の上の方に移動する。
2刷	P182　1行めの式	$K_s = \frac{I_s}{I_n} = \frac{V_n/X_s}{I_n} = \frac{1}{X_s} = \frac{V_n}{I_n} = \frac{1}{X_s \div \frac{V_n}{I_n}}$	右から2番目の「＝」を「×」とする。 $K_s = \frac{I_s}{I_n} = \frac{V_n/X_s}{I_n} = \frac{1}{X_s} \times \frac{V_n}{I_n} = \frac{1}{X_s \div \frac{V_n}{I_n}}$

2刷	P182　図4－2－7	真ん中が「遅れ力率の場合」、右が「進み力率の場合」となっている。	遅れ力率の場合と進み力率の場合と逆とする。
初版	P222　問4　解説1行目	サイリスタを用いた単相全波整流回路の直流出力電圧は V_d =0.9V cos α で表される。 V_d	サイリスタを用いた単相全波整流回路で抵抗負荷の場合の直流出力電圧は V_d =0.9V $\frac{1+\cos\alpha}{2}$ で表される。 ⇒「cos α 」を「$\frac{1+\cos\alpha}{2}$ 」とする。
初版	P222　問4　解説5行目	=0.9×100×cos0°　=90[V] この時点で (1), (4)は誤りとわかる。	V_d =0.9×100×$\frac{1+\cos 0°}{2}$ =90[V] この時点で (1), (4)は誤りとわかる。 ⇒「cos0°　」を「$\frac{1+\cos 0°}{2}$ 」とする。
初版	P222　問4　解説7行目	cos90°　＝0.5, cos180°　＝0なので90°　で, (2)は誤りとわかる。	cos90°　＝0, cos180°　＝−1なので, 90°　で0になる(2)は誤りとわかる。 ⇒「0.5」を「0」、「0」を「−1」、「で, 」を「で0になる」とする。
初版	P234　誘導性負荷の逆変換　図5-4-5②		⇒図内の一部に線を追加 
初版	P239　逆変換装置を利用した機器　図5-4-13		⇒回路図の一部に「●」を追加 
初版	P242　演習問題　問2　解説　3行目	容量性負荷のときに,	誘導性負荷のときに,
初版	P262　フィードバック制御の制御動作　図6-2-13　左端		⇒図内の「 5m3/min 」を「 50m^3/min 」とする 

初版	P264 フィードバック制御の制御動作 図6-2-16		⇒図内の「ωT」を「jωT」とする 
初版	P287 解答解説 問4 下から3行目	BAB$_A$＝$\frac{G_1}{1+G_1G_2}$A	B$_A$＝$\frac{G_1}{1+G_1G_2}$A ⇒数式の頭の「BA」を削除
2刷	P363 図9－2－1	最左が「γ色」となっている。	「γ色」は「γ線」とする。
2刷	P365 図9－2－3	右図の矢印2本の先端が線でつながっている。	矢印先端を結ぶ線を削除する。
初版	P370 図9-3-1	FNM[lm] FNMU[lm]	FN[lm] FNU[lm] ⇒「M」を削除する
初版	P405 11行目（4）	誘電加熱は，非加熱物の誘電体損を～	誘電加熱は，被加熱物の誘電体損を～ ⇒「非」を「被」とする
2刷	問17の図	図内の右上「B」だけ、「●」が無い。	図内の他のA,C,D,Eと同様に、Bも「●」を追加する。
初版	P413 解答解説 問6 ① 解説図上部		⇒「j1[V]」を「j1[Ω]」とする 
初版	P413 解答解説 問6 ⑤ 解説図上部	Ix_s＝I_0	Ix_s＝I 。 ⇒「$_0$」（ゼロの小さい文字）ではなく、「。」（句点）とする

2刷	P419　解答解説　問17(a)①の1行め	～とみなせるので,	～と見なせるので，とする。
初版	P428　問16　図		 ⇒図中に点を入れ、直流機の記号内に「M」を入れる